

地域の中で育まれる子ども達 ～親子餅つき会を終えて～

寒さが厳しくなってきた12月8日(日)、恒例の餅つき会を行いました。5月に小学生が植えた田んぼに育った餅米を使い、保護者や地域の方々に協力していただきながら準備を進めてきたこの日、運動場に心地よい杵の音がこだましました。昨日、保護者の皆さんが準備してくださった餅米は33升(49.5kg)。小学生も中学生も重い杵を力を振り絞って振り上げ、真っ白い餅米に杵を打ち下ろしていました。つきあがった餅を、早速試食する生徒達の笑顔は、どの顔も誇らしげに輝いていました。

その後、保護者や地域の方々に前に、中学3年生4人、小学6年生3人による「立志の誓い」の発表を行いました。これまで育ててもらった感謝を述べ、将来にかける夢を語った一人一人が、それぞれに成長した姿を見せてくれました。午後からは、地区役員の保護者の引率で、地域内各所に餅を配りに赴き、たいへん喜んでいただきました。地域の中で育まれ、日々を充実して過ごす子ども達の地域との触れ合い行事が、今年もこうして幕を閉じました。

